

「持続可能な紙利用のためのコンソーシアム（CSPU）」主催 シンポジウム

富士ゼロックスの用紙調達活動について

2016年7月8日

富士ゼロックス株式会社

総務部環境経営グループ 鈴木克彦

<本日お話しすること>

弊社、富士ゼロックスの概要

1. 用紙の環境配慮

1.1. 富士ゼロックスの基本的な考え方

1.2. 環境に配慮した商品づくりの歴史

2. 用紙のトレーサビリティ強化の動き

2.1. 社会からの要請

2.2. 持続可能な調達を目指して

3. 今後の課題

富士ゼロックスの概要

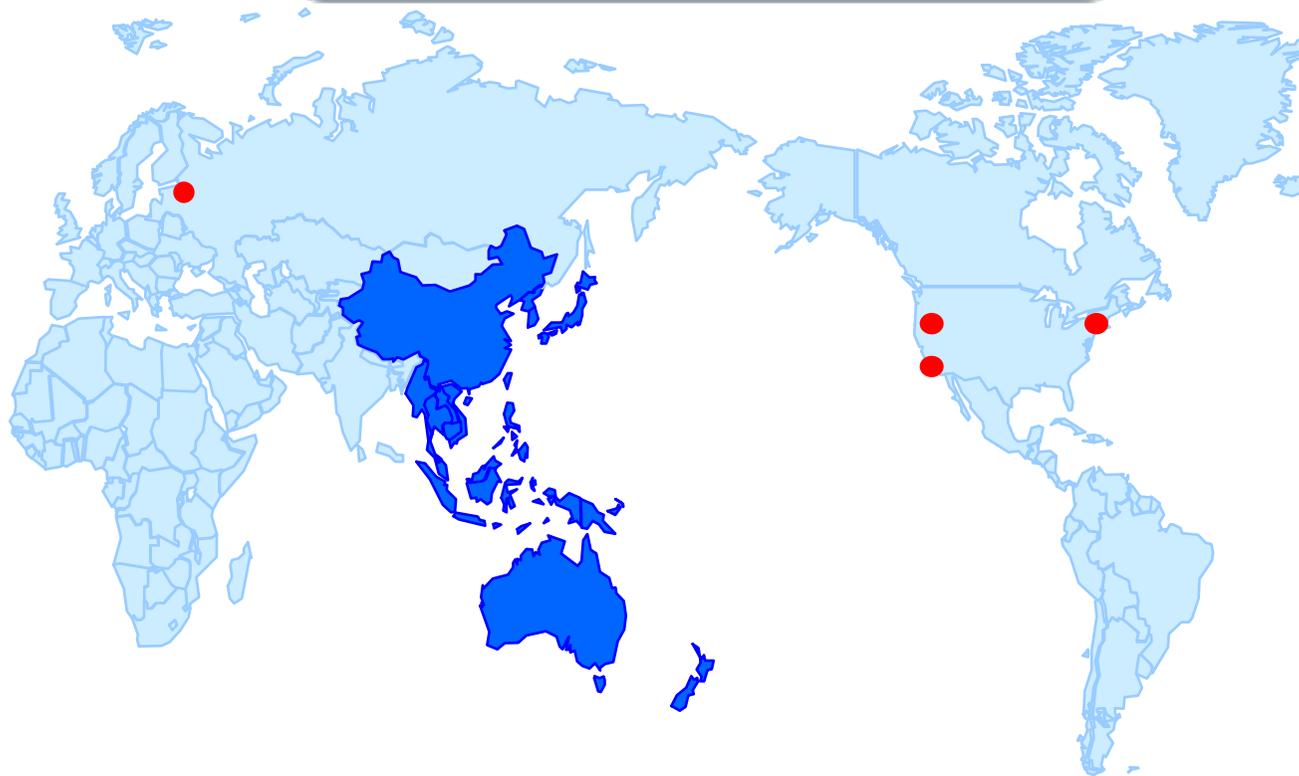
【設立】 : 1962年2月

【資本金】 : 200億円

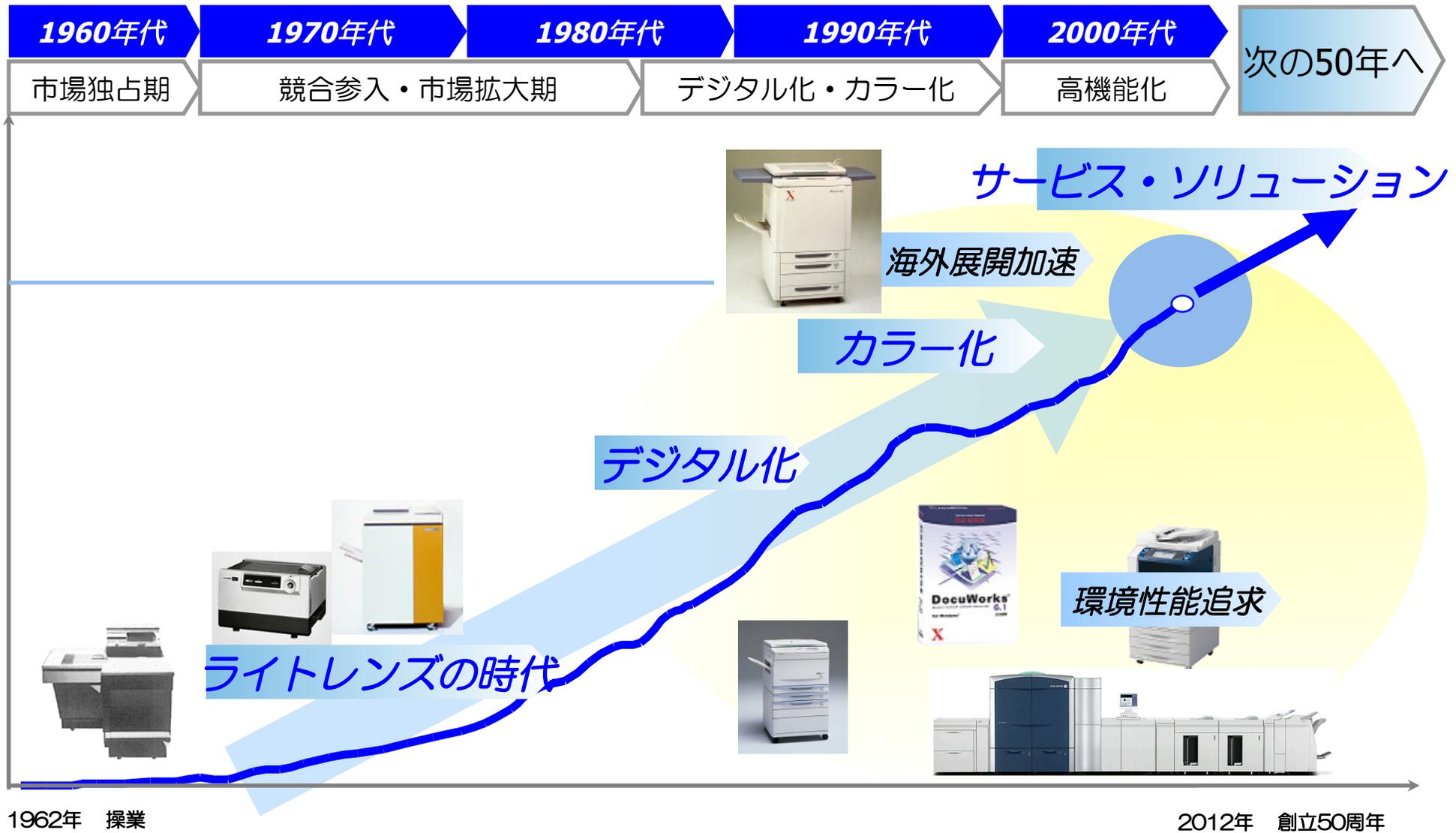
【株主構成】 : 富士フィルムホールディングス 75% , ゼロックス・リミテッド(英国) 25%

【従業員数】 : 単体: 8,530人、連結: 46,945人 (2015年3月末現在)

富士ゼロックスの営業領域



富士ゼロックスの事業の歩み



1. 用紙の環境配慮

1.1. 富士ゼロックスの基本的な考え方

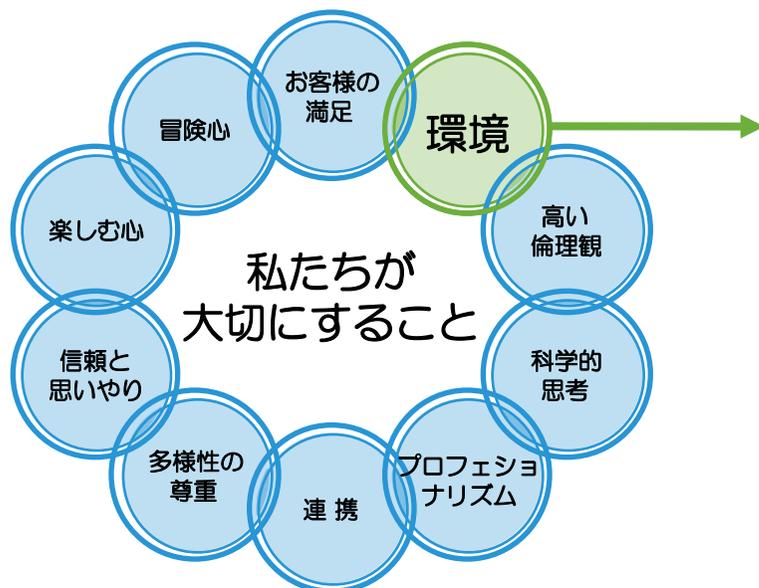
- 1999年、お客様や社会の環境保全活動に貢献することにおいて世界のトップレベルを目指すという意志を込めて、国内外の富士ゼロックスおよび関連会社で共有するビジョンを制定しました。富士ゼロックスの環境保全の活動のすべてはこのビジョンの達成を目指しています。

私たちが目指すもの

知の創造と活用をすすめる環境の構築

世界の相互信頼と文化の発展への貢献

一人ひとりの成長の実感と喜びの実現



エコロジー&セーフティビジョン

富士ゼロックスおよび関連会社は、
環境との調和を最大限に尊重した活動を事業のあらゆる側面で展開し、
安全で環境にやさしい商品・サービスおよび情報を提供することにより、
お客様や社会の環境保全活動に貢献することにおいて
世界のトップレベルを実現する。

エコロジー&セーフティ基本方針

1. 法規制・自主規制の順守
2. 省資源/省エネルギーへの取り組み
3. 最新技術の開発・導入
4. 管理システムの改善・強化
5. 社会との調和の向上
6. 環境マーケティングの実践
7. 情報の公開
8. 不測の事態への対応
9. 教育・啓発
10. パートナーとの協業

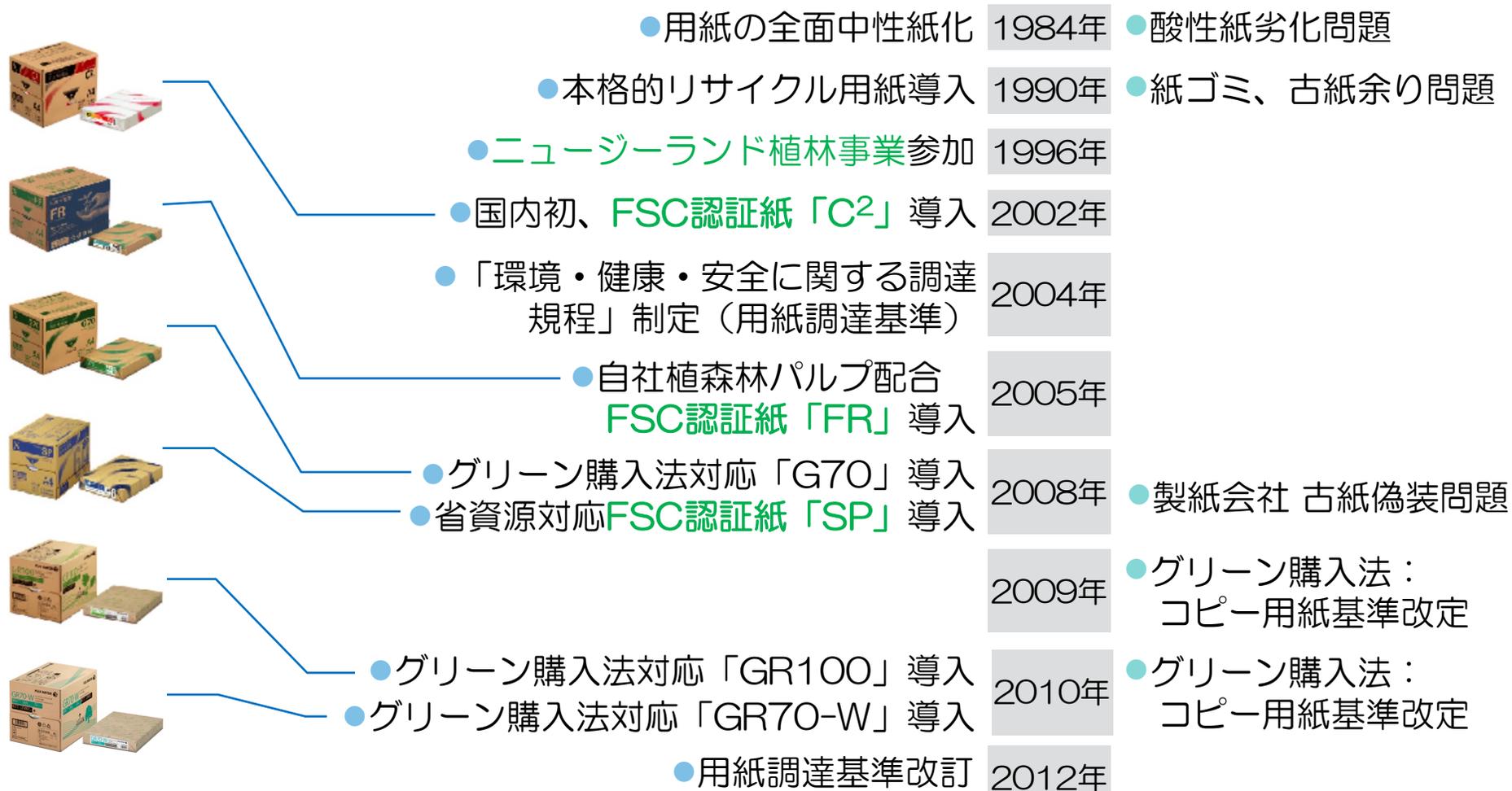
1. 用紙の環境配慮

1.2. 環境に配慮した商品づくりの歴史

- 富士ゼロックスは、創立時から現在に至るまで社会環境の変化への対応とあるべき商品の姿を目指し、用紙の開発と環境保全に向けた活動を続けています。

富士ゼロックス用紙の環境対応活動

社会の動き



2. 用紙のトレーサビリティ強化の動き

2.1. 社会からの要請

- 2004年制定の調達基準に基づき、用紙について取引先企業に毎年調査を実施してきました。

調達基準(用紙基準)

- 持続可能な森林管理
- 再生パルプのトレーサビリティ管理
- 化学物質の遵法管理
- 無塩素漂白
- 工場環境管理

- 一方、NGO等の要求が高まり、当社の調達先の活動に対しても批判が高まっていました。

- 保護価値の高い天然林の大規模伐採または皆伐
- 地域住民の権利の侵害
- 役人に対する収賄

- 継続した環境配慮の取り組みとして、用紙調達基準の見直しを進めました。

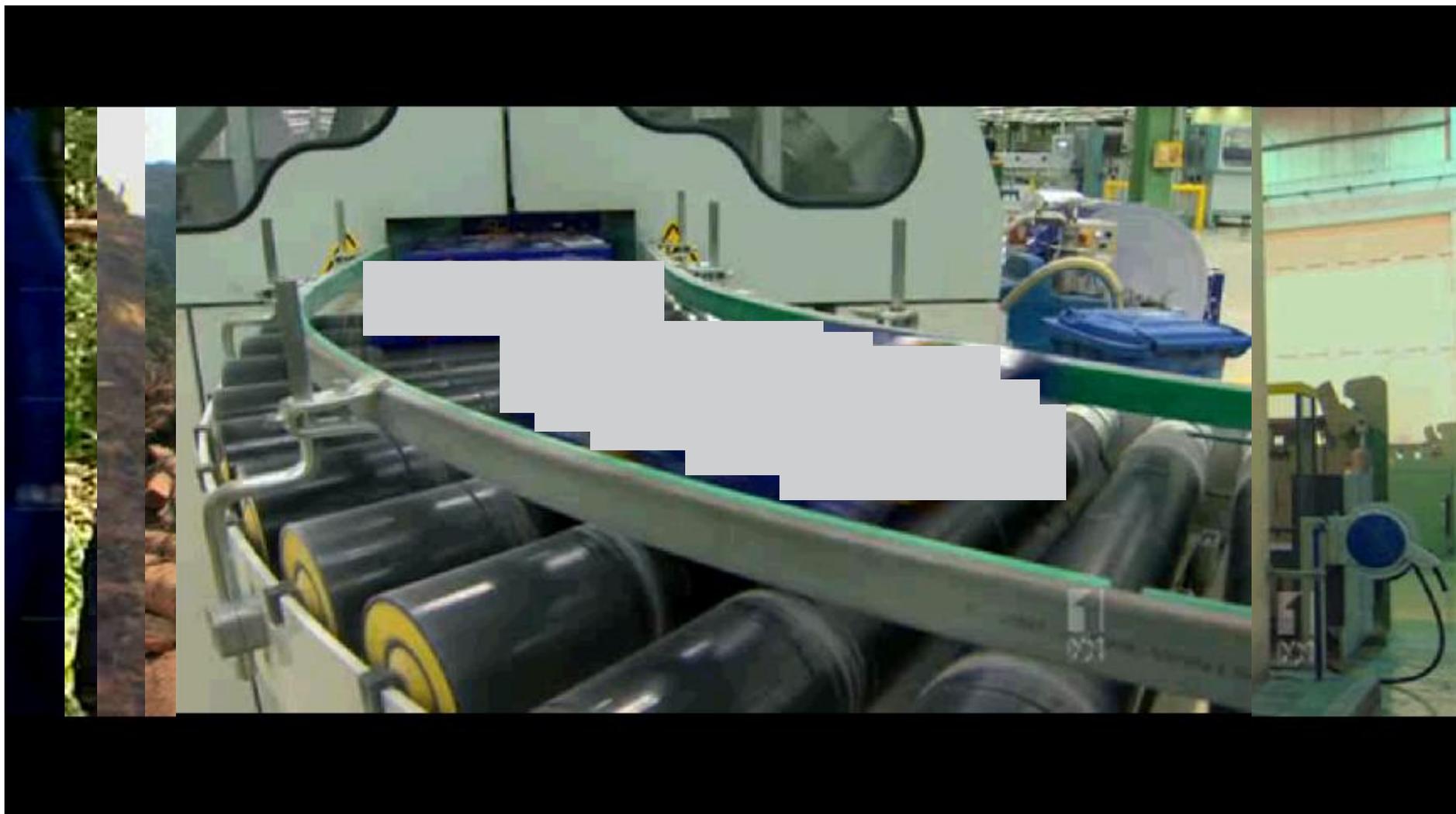
- ◆ 取引先企業の事業活動全体の評価基準を検討
- ◆ 環境NGOや専門家の助言を参考に新基準を策定
- ◆ 基準に不適合の取引先企業との取引停止を経営提案

調達基準
用紙基準
+
取引先基準

2. 用紙のトレーサビリティ強化の動き

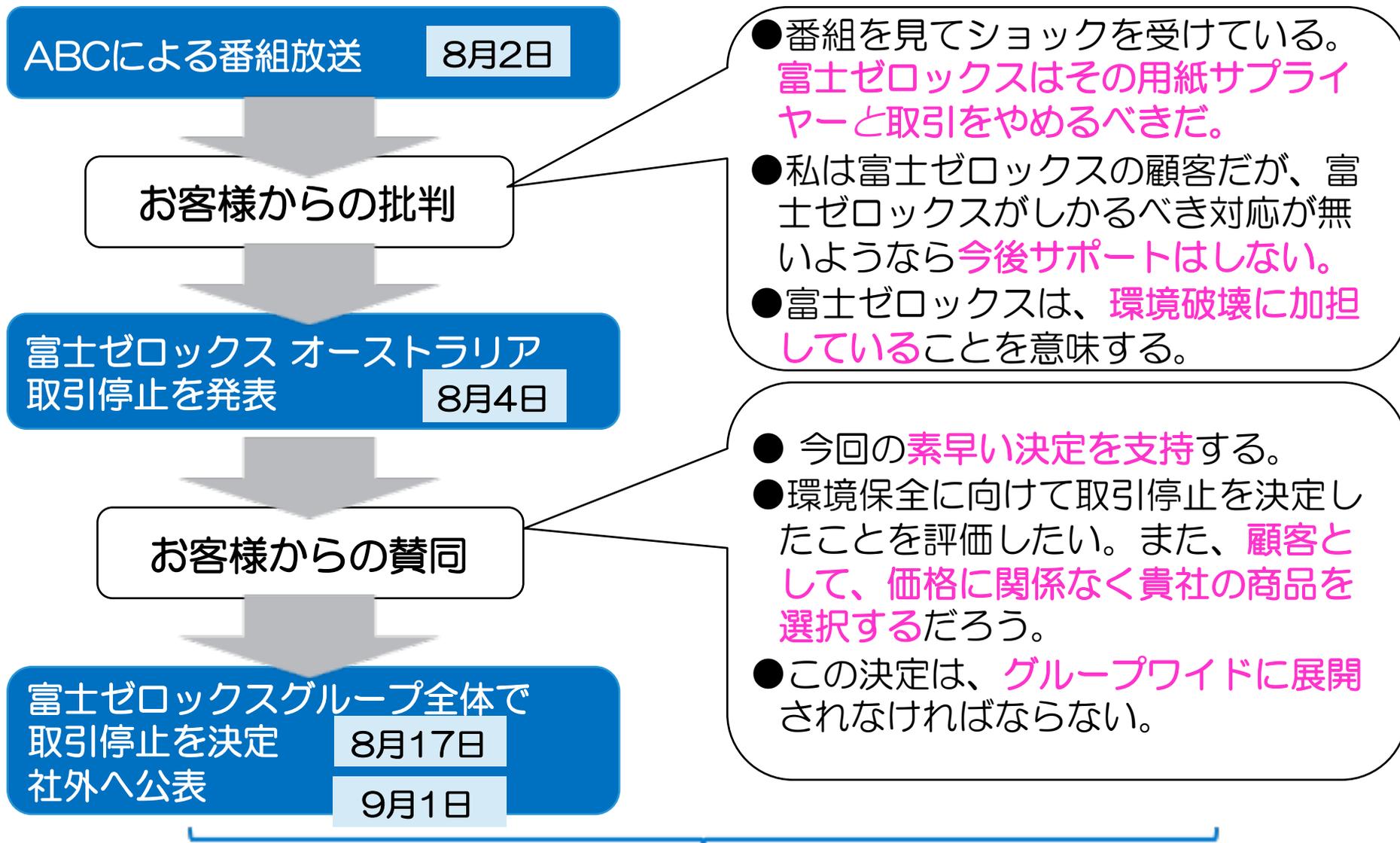
2.1. 社会からの要請

- 用紙調達の取り組み改善検討の最中、マスメディアで「環境破壊によって製造されたコピー用紙が、富士ゼロックスによってオーストラリアのオフィスに供給されている」と取り上げられました。



2. 用紙のトレーサビリティ強化の動き

2.1. 社会からの要請

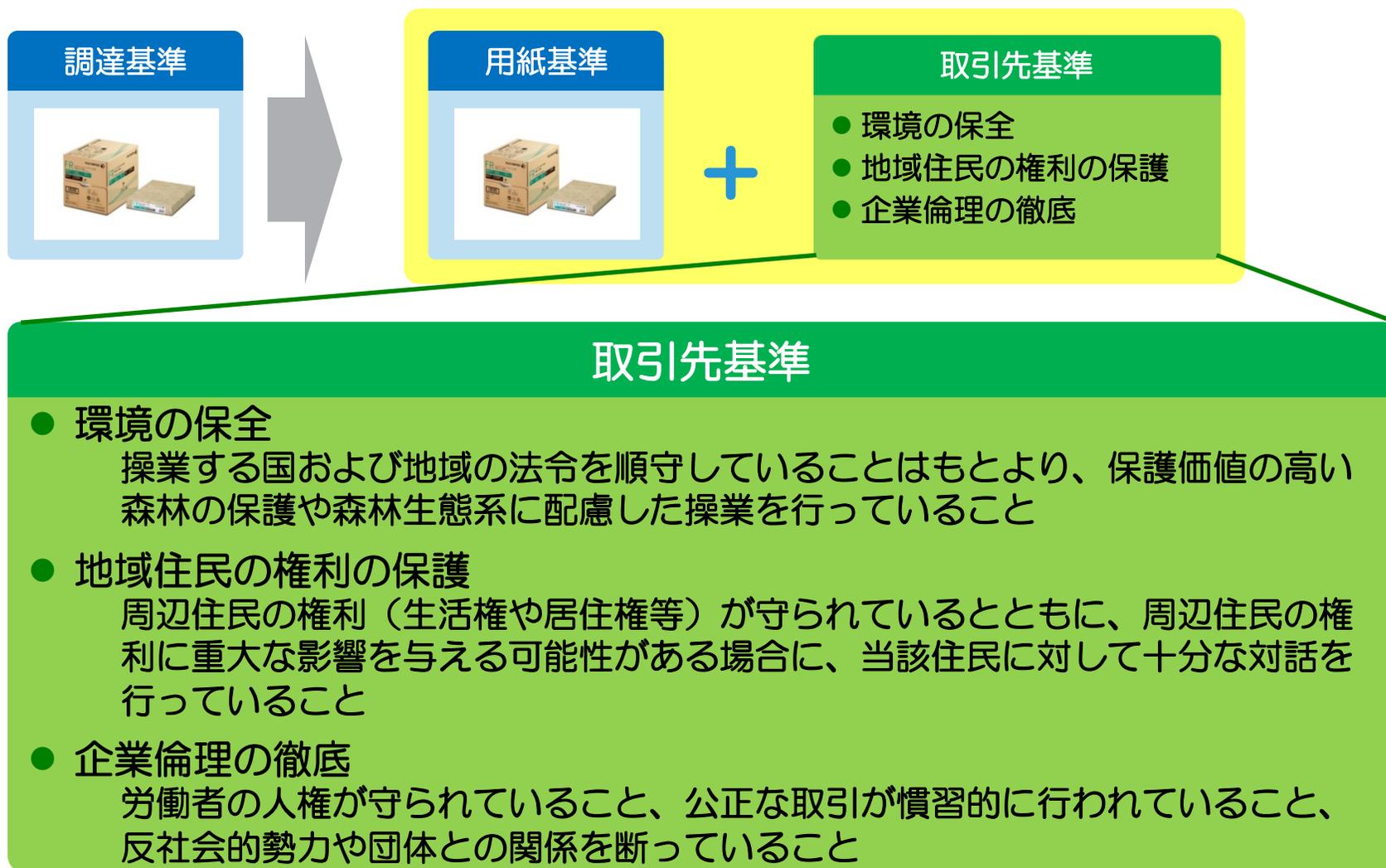


用紙調達基準の改正を加速

2. 用紙のトレーサビリティ強化の動き

2.2. 持続可能な調達を目指して

- 2012年5月に用紙調達基準を改定し、「環境」「地域住民」「企業倫理」などCSR観点の基準を定め、基準を満たした企業からのみ、用紙を調達することを義務付けました。



2. 用紙のトレーサビリティ強化の動き

2.2. 持続可能な調達を目指して

- 新たな調達基準に基づき、調達先企業の遵守状況を毎年調査し、その結果を経営層が参加する会議で確認しています。

調達基準

- 持続可能な森林管理
 - 再生パルプのトレーサビリティ管理
 - 化学物質の遵法管理
 - 無塩素漂白
 - 工場の環境管理
- +
- 環境の保全
 - 地域住民の権利の保護
 - 企業倫理の徹底

遵守を要請

状況を報告

調達先企業

The image shows two forms used for supplier compliance. The top form is a checklist titled '用紙に対する要求事項に関するチェックリスト (工場単位)' (Checklist for requirements regarding paper, by factory). It includes sections for '富士ゼロックス株式会社 御中' (To: Fuji Xerox Co., Ltd.), a table for '用紙に対する要求事項に関するチェックリスト' with columns for '項目' (Item), '達成状況' (Achievement Status), and '備考' (Remarks). Below the table are questions regarding environmental management, chemical substances, and safety. The bottom form is a '年度報告書 (工場単位)' (Annual Report, by factory) for the period from April 1, 2000, to March 31, 2000. It includes a table for '報告事項' (Reported Items) and a section for '要求項目や材料に関して' (Regarding required items and materials).

◆ 遵守状況に問題がある場合には、経営層が取引停止も含めて判断します。

3. 今後の課題：紙を使い続けるために

今後の課題と対応

1. 調達基準管理体制の維持・徹底
2. 増加する管理コストの吸収



製紙会社様やお客様のご協力をいただき、
安心して紙を使っていただけるように、自社の管理を徹底します。
そして、紙を持続的に使用できる社会を目指します。

FUJI Xerox



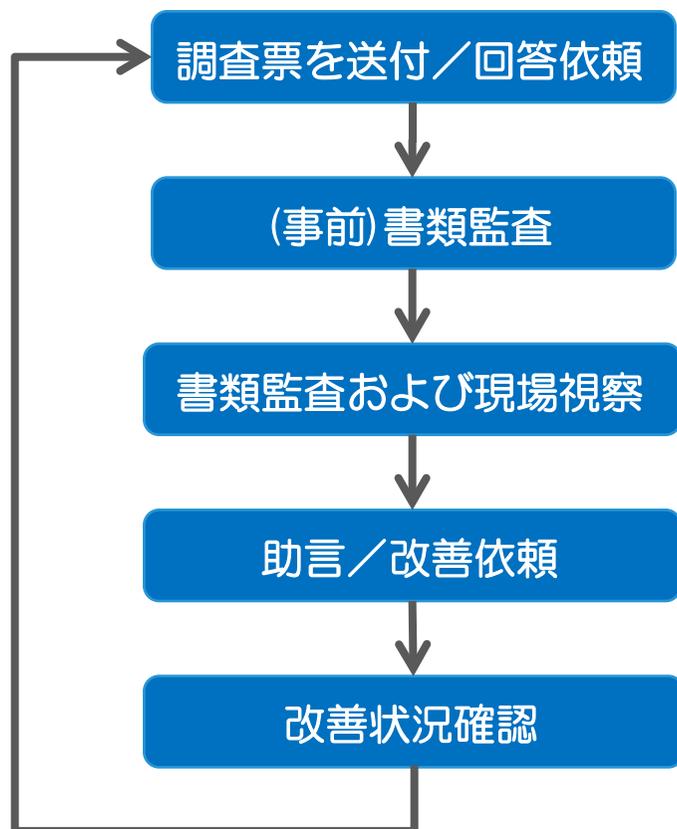
Appendix：取引先企業の工場監査

- 日本国内で実績及び専門的知見をもつメンバーによる工場監査を実施しています。

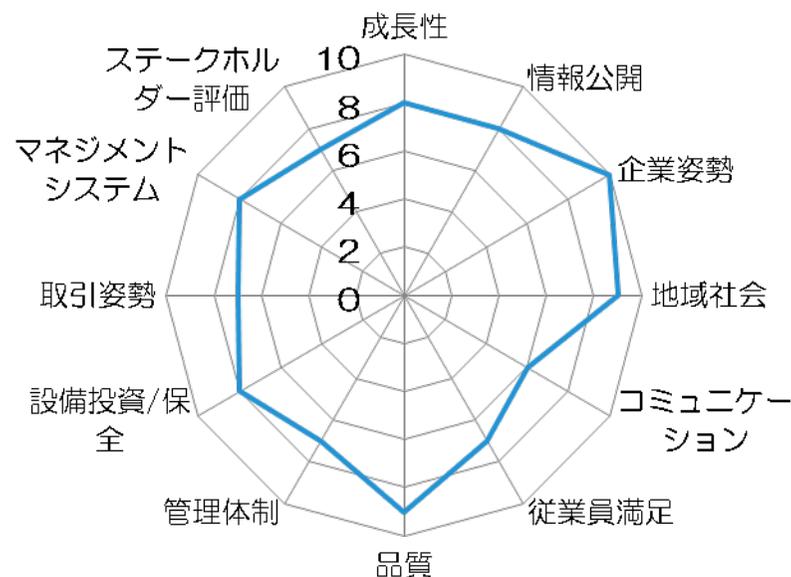
1. 取引先基準および用紙基準への適合状況の確認

2. 取引先を総合的見地で評価し、必要に応じて改善を促す

<工場監査フローの概要>



<総合評価のイメージ>



改善点を抽出し、改善を促す